

西原村議会だより

2002・2・15

ゆうすい

No. 45

編集発行／西原村議会
熊本県阿蘇郡西原村大字小森3259

TEL 096・279・3111
FAX 096・279・3506



フライト農業による農産物販路拡大へ
(大阪豊南市場)

12月定例会

主な内容

- 一般会計補正予算 2
- 統合の保育園建設へ 8
- 一般質問 5 議員登壇 9

2億657万円追加!

12月定例会

一般会計 一億七千七百七十三万追加補正

平成十三年十二月定例会は、十八日から二十一日までの四日間の日程で開かれ、一般会計補正予算など予算に関するもの四件、条例制定に関するもの四件、指定金融機関の指定、教育委員の任命の同意、その他の議案二件、議員提出議案一件について審議し、全議案を原案のとおり可決した。

一般質問では五名の議員が登壇し、町村合併問題をはじめ村政全般について質した。

【渡辺】不法投棄警戒反射マグネツト代の説明と、不法投棄の警戒が村でできるか、不法投棄の現在の状況は。また、河川雑草処理費の内容説明を。

【保健衛生課長】消防積載車と役場公用車に取り付け、監視をお願いするもの。監視体制は、村長と消防団長と協定を結ぶ。不法投棄が、辰口橋や土林の川沿いにあつたが、建設業協会のボランティアで片付いた。その他何ヶ所かみられる。

【建設課長】県からの雑草処理費百四十五万円の半額を、ボランティア活動の地元で支払う。作業は今後もお願いしたい。

【田島】関西村人会旅費と物産展旅費及び、牛肉消費拡大事業負担金と家畜環境保全補助金の内容説明を。



改造がまたれる山西小学校

安全な学校づくり

【企画振興課長】村人会発足に向けての準備費と伊勢丹三店の物産展に出店するための旅費である。

【経済課長】BSE対策で阿蘇南部六ヶ町村と畜協をやる牛肉の消費拡大の負担分である。畜産環境保全事業内容は、

活性汚泥層、し尿を浄化する施設で、一割を助成するものである。

【今村】関西村人会の立ち上げの予定は。

【企画振興課長】十四年度中に準備をしたい。

【今村】農産物の販売ルート開拓の研修で、関西村人会と懇談の中で、どうせ買うなら故郷のが良いとのこと、早めに立ち上げ今後の農産物の販売等に効果が上がるように。

【秋吉】特定農産物推進協議会補助金とあるが、農産物の種類と事業内容は。

山西小学校大規模改造工事の内容、時期、工事の方法、効果、また授業に影響はないか。

山西小学校大規模改造費に

【経済課長】米、甘藷、椎茸、苺等で、ゆくゆくはえび芋も考えたい。内容は直販でデパートあたりと契約し、売上げを伸ばし、販売促進を図りたい。

【教育課長】耐震補強工事が必要になり、現在設計中である。工期は四月から十二月にかけて工事をすれば、夏休みをフルに利用でき、授業への影響を最小限に抑えられる。教室を使えない分は、プレハブで対応する。

内容は全面的な外壁改修、床、天井の張り替え、電気系統、教室の警報ベルの設置等である。

【松本】青少年の森の委託作業で事故やけがに対する対応は。

【企画振興課長】組合で保険に加入しているが、契約更新時に責任の所在等の項目を設けたい。

【藤本】中山間地域直接支払金の今の現況は。

【経済課長】十九地区で中山間事業に取り組んでいる。集落、組織を上げて農業の振興に努めるのが一番の目的で今後も推進していきたい。

全員賛成

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ八千四百三十九万九千円追加で、歳入

内容は繰越金八千八百八十九万、

補助金百五十六万六千円、一般会計より繰入金九十三万四千円等、歳出の主な内容は基

金積立金三千万円、介護円滑導入給付金による収納及び保

険指導等のための公用車購入費二百五十万円等。

【田島】ハイブリッドカーで五人乗りという事だが、徴収

には何人で行くのか。

【保健衛生課長】二人か三人で行く。

反対討論

【田島】国保税額は阿蘇郡十二ヶ町村内で最高で医療費は

中位、車も高額、滞納もしたくてしているのではない。基

金積立より値下げが必要。

賛成討論

【今村】国民健康保険の運営状況は大半の自治体で赤字運営と聞いている。赤字運営を

続けると国、県よりの補助金カットや地方交付税の見直し

等弊害が出た町も有る。世の中の現況は不況そのもので多

くの人がリストラに合いその数は増え続けている。その人

達は社会保険から国民健康保険に変わる。滞納者増は目に見

えている。積立基金一人当りの積立額は阿蘇郡内で最下位、

三千万増しても下から三番目になる。今回の措置は正しい。

賛成多数

森林開発公団分収造林特別会計

歳入歳出それぞれ二百八十五万七千円

増額補正。内容は医王寺向第二、第三

団地十六・六ヘクタールの除伐、枝打ち等。

全員賛成

中央簡易水道事業特別会計

項目間の補正四千三百二十万四千円、

内容は旅費及び負担金の補正で予備費より充当。

全員賛成

肥後銀行を指定金融機関に

【村長】歴代の監査委員から指摘があり、重度心身医療、乳幼児、高額医療費等や、合併浄化槽維持管理費補助金の連名での一括口座振込が、地方自治法に抵触しており、また事業者への口座振込も即時領収書が取れず、不備書類として例月監査時の重要指摘事項として報告があつている。

【松本】JA阿蘇は無料であり、肥後銀行は有料だから反対。

【松本】肥後銀行は無料ではないのになぜ。

【村長】全てを検討した結果（反対討論）

【松本】JA阿蘇は無料であり、肥後銀行は有料だから反対。（賛成討論）

【今村】監査の長年の要望であり、今の経済状況では人件費の負担は当然であり賛成。

【松本】蘇陽町、南小国町と研修したが、肥後銀行の他に金融機関の指定願いはなかつ

たのか。

【収入役】JA阿蘇から申し入れはあつた。

【村長】色んな角度から検討した結果、総合的に肥後銀行に決定した。

【松本】肥後銀行は無料ではないのになぜ。

【村長】全てを検討した結果（反対討論）

【松本】JA阿蘇は無料であり、肥後銀行は有料だから反対。（賛成討論）

【今村】監査の長年の要望であり、今の経済状況では人件費の負担は当然であり賛成。

小牧土地改良区、新規灌漑用水の開発 についての委員会付託案件の報告。

審査の結果、継続審議

全員賛成

条例の一部改正

「一般職、技能職の給与に関する条例」

厳しい経済雇用情勢のもと俸給表の改定を行わず暫定的として特例一時金年額三千四百五十六円を支給するが、特別給については〇、〇五ヶ月引き下げる。

（賛成多数）

「青少年の森設置及び管理に関する条例」

ロッジ五棟増設に伴い各施設の料金表の改定。主な改正はロッジ使用料をオフシーズン、オンシーズン、トップシーズンと三段階にした。

（全員賛成）

「村奨学基金条例」

基金の額を三百万より四千万以内とする。
保証人の資力調書を所得証明書に。

貸付額を大学の一万五千円を大学及び専門学校三万円とし、高等学校一万以下を二万円とするなどが主な内容。

【泉田】借りる人が少ないようだが、この改正をどのようにアピールするのか。

【教育課長】貸付金額が安いことと、村の貸付金を受けた場合、他の奨学金が受けられないということを利用して利用者が少なかった。今後広報西原、学校等を通じてアピールしたい。

（全員賛成）

「県営布田地区

ため池等整備事業に

伴う第一次負担義務者

としての同意」

事業費の負担割合

国庫補助 五十%

県補助 三十%

村負担 十七%

受益者負担 三%

（全員賛成）

「教育委員の 任命同意」

教育委員の任期満了に伴い、増永孝徳氏を再任。

増永氏は平成九年山西小学校長を定年退職までの学校教育三十六年間の実績と誠実な人柄が認められる。

阿蘇広域事務組合平成13年度決算認定

一般会計 歳入 32億6567万円 歳出 29億1527万円
西原村負担金 2617万円

特別養護老人ホーム（みやま荘）

特別会計 歳入 3億5400万円 歳出 3億1400万円
西原村負担金 560万円

養護老人ホーム（湯の里荘）

特別会計 歳入 1億5328万円 歳出 1億4762万円
西原村負担金 1490万円

大津町、西原村原野組合 平成13年度予算 223万6千円

負担金 大津町 23% 23万円 西原村 77% 77万円



共有山組合議場で組合長からの説明

研修報告 山田政晴

五月十八日、官行造林地等の現地調査での結果、早急な間伐また枝打等の必要性を確認。十一月二十日から二泊三日で四国へ研修、高知県の吾北村では、都市と山村の交流の機会を図り活力ある地域づくりがされていた。今治市の共有山組合は三市町村で構成され、約二千四百

ヘクタールの山林を明治の時代から現在まで管理経営されており、皆伐施業をやめ複層林施業を導入して三百八十ヘクタールの複層林が造成されていた。現地の山林に入り、説明を受け、原野組合が管理していく上で有意義な研修であった。

陳情書

県産材需要拡大についての要望事項

- 1 木材を生かした建築物の木造化の促進
 - 2 内外装材への県産木材の利用促進
 - 3 土木資材への県産木材の利用促進
 - 4 外構施設への県産木材の利用促進
 - 5 間伐材等の利用促進
- 県産材需要拡大県民運動推進会議 会長熊本県知事 潮谷義子

（全員賛成）

文教・厚生常任委員会

藤本 一雄

球磨郡上村と下益城郡豊野町の研修を行った。

上村では、社会福祉協議会総合施設を研修したが、上村は宮崎県えびの市と錦町、多良木町、岡原村、免田町に囲まれた自然豊かな村で、たばこ、米、メロンの産地である。

現在中球磨五ヶ町村の合併が進んでいる。

上村ヘルシーランドは、温泉を含めて福祉センター（デイサービスセンター）、保健センターが一つになった施設で、国庫補助を受けず県補助金約三千万、残り十億三千万を一般財源と地方債で建設された。温泉センター、デイサービスセンターは社協が運営し、年間十万人の利用があり、収入四千五百万円、支出三千五百万円と黒字である。

保健センターは、現在四名の保健婦（内一名は介護保健関係）で保健事業がなされている。

村で乗り合いタクシーを走らせている。二社あるタクシ

ー会社が一ヶ月交代で、週二日、村の中央まで運行されている。一番遠い集落で約十三kmあるが、年間二百万円の委託料で済むそう。お年寄りも温泉センターで一日を楽しみ、医療費の減額につながっているようだ。

午後に堆肥センターを視察。四億八千万円で建設され、補助金が約二億八千万円、地方債一億九千万円。ダンブカーバキュームカー、フォークリフト、シヨベルカー等が常設されている。原料は畜産農家より購入しているが無料にシなくては採算が取れず、年間六百万円程の赤字で、今後は農協と協力して堆肥散布までを考えていくとのことだった。

豊野町では統合保育園の研修。この町は干し柿づくりや江戸時代の石橋が有名で、緑とフルーツの里をキャッチフレーズにした素晴らしい町だ。

町には三つの保育園があり、合計定数百八十人に対し、入園者数百二十四人と、この町

でも少子化は進んでいる。保育園統合は、就学前検討委員会が設置され、答申に基づいて統合に至っている。平成十三年度事業で建設中で、福祉センターや町民会館に隣接し、道一つへだてた所に小学校もある。定員百五十人、建坪千四百㎡と本村と似かよっている。また、一時保育、子育て支援センターも併設して、保護者のニーズにこたえていく方針とのことだ。



上村ヘルシーランド

ちょっと服

新たな年になって早十六日。振り返ると、今年は最初の一週間は寒い日が多かったが、この一週間は温かい日が続いている。毎日、

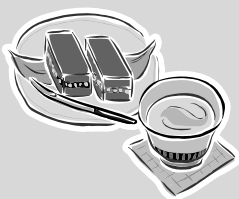
休みの日以外は長陽村まで朝晩通う五十七号線の途中に、只今の気温をリアルタイムに表示している。今年になり最低気温が一番高い日十四度表示の日があった。今日庭を見廻したら紅梅の盆栽が十輪程花開いて、春の匂いがほのぼのと気持ちいい。庭の梅の花の蕾もずいぶん大きく成って昨今の気温の上昇に反応している。

朝のラジオで今年度の気象予報にエルニーニョ現象の兆候が観測された。南米地

方に雨の被害の報告があればほほ起こると、気象予報士森田氏は言っていた。気温の異常も前ぶれではと、冷夏長雨過去の記憶では水害で記録の被害が多い。景気回復もままならぬ内にと気になる。くらしの中では暖かい方が過ごし易い、雪柳ぎ、白モクレン、レンギョ、ハナスオウ、山桜、コブシ、山吹き、ヨシノ桜etc...と梅からつぎつぎと花を咲かせる木々の名である。

毎春の気温で咲く順番は変わるが春のおとずれを表す花々。早く春が来ておだやかな一年になってほしい。そして我が国の経済も早く春になったらと願いつつ今年初めてのゆうすい編集のあい間に想う。

今村和己



建設・経済常任委員会 米田 眞也



JA京都南丹園部堆肥センターで説明を聞く

十二月十三日から三日間、大阪京都方面に西原村の農産物の販売ルートの促進と堆肥センターの研修に、建設経済委員五名と荒木課長の六名で行った。十三日は、大阪梅田の阪急、阪神両百貨店の地下街野菜販売場の市場調査を行った。他の産地の甘しょよとえび芋に興味を持ち、鳴門金時が高値の甘しょよで、gの500円、紫芋はgの100円、オレンジ芋はgの80円、

えび芋、京都産gの200円、静岡産gの250円、一パック、5個入り300gが500円、大きいのが一個入り、300g位で650円もしていてびっくりした。見た目はエビに似ているのか、タケノコに似ているのか興味を持つ芋で、高値で売れ西原でも是非、取り入れて欲しい。次に豊南市場は、新大阪駅から車で五分の所にある市場（表紙写真）で、西原の甘し

JA京都南丹園部堆肥センター研修

事業	S.52 畜産総合対策事業	
事業費	1億3,680万円	国の補助 50% 京都府の補助 5% 園部町 1,000万円 JA 5,150万円
施設	建屋（2棟）3,000m ² 2ダンプ 2台 マニヤスプレッター 3台	
生産量 (処理量)	年1800t	
処理費	園部町の農家 持ち込み	t 5,000円
	町外	t 20,000円
発酵処理量	20t/日 90日 年間稼働日数	
堆肥販売	バラ積 取りにきた時	6,000円 /t
	配達	8,000円 /t
	マニヤスプレッター散布料	3,000円 /t
	袋づめ 1袋 15k	350円 23円 /kg
収集運搬、中間処理の許可も京都府の指導のもと、取得されていた。		

国民健康保険運営協議会

よ販売の視察をした。販売には、JA阿蘇、役場各一名、農家より二名の方がハツピ姿で一生涯懸命売っておられた。私の個人的な意見になるが、都会の人が見た時に甘しょよと表示してあるのに、ピンとくるかなと感じた。それと品質のいいものを生産する事が、一番ではないかと思った。十四日は、JA京都南丹園部堆肥センターを研修した。

別表参考

国民健康保険運営協議会委員 員福岡県宇美町を研修
 収納率向上対策及び保険事業先進地として県より紹介、老人保健拠出金の負担全国トップ平成十一年度の滞納繰越額四億円超で平成十二年度収納率向上特別対策本部を設置し保険税収向上を計り平成十一年度より九十二、六%が九

十二、八%へ向上短期保険証及び被保険者資格証明書の交付（国の滞納対策指導）特別収納活動の実施等に対応。老人医療費削減及び健康づくりを促進する拠点として福祉センターを建設、いきがい対策母子福祉事業等を進めて医療費の増加を抑えたいと取組ま

いよいよ

統合保育園建設へ

平成十三年第三回臨時会は十二月五日開かれた。一般会計補正予算の総額に歳入歳出それぞれ一億四千三百九十万円を追加。歳出の主なものとして、統合保育園用地購入費一億五千百万円を可決。

【秋吉】 保育園統合に向けて 場所であるので、県産材、出の用地取得に関する補正と思 来れば村産材を使い、出来る すが、具体的な計画があれば 限り地元の人達にお願いし経 お聞きしたい。 済効果を高めたい。

【村長】 平成十四年度で計画 【今村】 保育園の用地購入費 一億五千百万七千円の根

拠と、中学校西側に次の計画で土地を購入したいと言われたが、価格面等で企画課と打ち合わせは出来ているか。また、文教委員会での検討はされたか。

【村長】 福祉センターの建設の時の用地価格等も考慮し、周辺の状況も考えてこの価格でお願いした。中学校周辺の整備用地については、農用地なので、その辺も考慮して今後検討していきたい。計画は企画、教育委員会と打ち合わせをしながら進めている。文教委員には統合についての相談はしたが、買収価格の相談はしていない。

【住民福祉課長】 平成三年のぎく荘敷地の価格を基に検討した。

【今村】 出ノ口に村有地があるが、そこに造る検討をされたことはあるのか。場所をのぎく荘の横にこだわる理由は。

【村長】 統合するなら村の中心で一番便利な所。これからの保育は福祉施設と隣接し、福祉施設を利用される方との交流を重視し、幼児と学校とお年寄りとの融合の中での保育が一番だと思つ。



保育園建設予定地

表紙題字



やまうちゆうた君
〔万徳保育園〕

今号よりゆうすいが インターネットで見られます

<http://www.vill.nishihara.kumamoto.jp/>

村政のそとくが聞きたい、知りたい

町村合併は

村長

合併が最善の 選択肢と考える

【秋吉】現在の地方行政体制は昭和の大合併の際できたもので五十年近く続いているがその間大きな環境変化、構造変化に見まわっている。政府は地方分権の推進のためには住民に身近な行政主体である市町村の行財政基盤を強化することが不可欠であり、規模を拡大し能力を強化するには市町村合併は極めて重要な課題と位置付けている。合併推進のために様々な特例措置を設ける一方、地方交付税の削減政策も明らかにしている。このような中、合併についてどのように考えておられるか、また「合併特例措置法」期限



秋吉 誠二 議員

内の合併を目指されるのか、或いは「合併特例措置法」の再延長の見通しはないのか。
 【村長】地方交付税の段階的見通しを考える時、今後単独自治体での運営は極めて厳しく、現段階では町村合併が最善の選択肢と考える。財政支援策や特例措置を考えると期限内成立を目指すのが当然と思う。特例法の再延長については国はないといっている。
 【秋吉】合併に対する住民の意向調査、意識の把握が必要。そのための住民説明会の開催をされるのか。また合併する



阿蘇南部町村の合併検討会議

範囲として、生活圈・経済圏イコール行政圏と思うのだが、どの町村との枠組みを考えておられるのか。

【村長】区長会議で説明した後、時期を見て、住民説明会をやりたい。土地利用計画のアンケートの中で町村合併に関して触れているがこれも判断材料としたい。合併の枠組みについては、色々なパターンが考えられる中、私自身も構想は持っているが現時点では控えたい。もう少し時期を見極め、公表するタイミングを図っていきたい。

【秋吉】合併の枠組みについて、最終判断の時期はいつ頃になるのか。合併に対する村長の決意は。

【村長】新年あけてなるべく早い時期に公表していく。合併はあくまで住民を幸せにする事が最優先。これから住民の意見・意向を聞きながら、また、議会・執行部との意見調整を進め決断したい。



心豊かな明るい子供に



渡邊 公男 議員

教育の日・教育週間の設立を

教育長

今後検討していく

【渡邊】平成十四年度より完全週五日制が施行され、新学習指導要領が小中学校において実施されるなど、来年度は学校教育の新しい出発点と思われる。週五日制についてのデメリットとして学力の低下が懸念される一方で、神戸の事件以降、いまだに学校開放の問題もはつきりとはしていない。このような中、教育県を自負される岡山県が「教育の日」を制定され、「教育週間」を設け、全県下に活動の輪を広げ、本年十一月に実施。資料を頂いたが、本村で行っていることや、できることが多く見られる。新しい教育改革の年、心豊かな明るい子供達を育てるためにも、全国に先駆け、村独自の「教育の日」「教育週間」を設ける考えは。

【教育長】完全週五日制の実施に伴い、学力の低下、青少年の非行等多くの問題がある。学校開放においても学校だけ

では対応できない問題もある。

今後教育委員会、社会教育委員会等で検討する。願わくば教育基本法が見直されている今、国や県で取りくまればと思う。

【渡邊】教育の停滞が許されない今日、新しい西原発信として小さな村だから出来ることとしての考えは。

【教育長】教育を取り巻く環境の厳しさは理解している。家庭教育の充実も含めて今後十分検討する。

【渡邊】岡山県では教育の日を条例制定している。村で条例制定の考えは。

【村長】今後、教育委員会と検討し、社会教育委員会に諮問となれば答申に向けてしっかりと検討していただきたい。

地域通貨で活性化を

村長 検討し進めている

田島 敬一 議員



【田島】高遊・布田・小森と、かなり人口が増え、小森東でも「萌の里」が人気とか。芸術村としても、さまざまな催し物も行なわれ魅力を増してきた。また、中山間地での交通の不便が「暮らしにくい」との村民の感想になっている。

【村長】西原村も熊本市の（さくらカード）に対抗することを考える時期に来ているのではないかと。乗合タクシーは他の議員も話し合っており大変良いことと思う。

【田島】学社融合の促進と、福祉・健康促進を融合する工夫

夫として、地域通貨を検討してはどうか。

【村長】地域通貨は、商工会の青年部が大変強い熱意を持ち、要望もあつた。

大変いいことだと考え、すでに準備に入っている。

また、社会福祉協議会でも歳末見舞いなどは地域通貨を贈った方がいいのではとの声が出ています。

地域通貨は、福祉にも使える経済振興にもなるので検討し進めている。

【田島】子ども議会の予定は。

【教育長】村の総合祭で、「子ども議会」を開催した後三年空いた。

まず、中学生と懇談会のような形で子どもたちと話し合ってみよう。

【田島】情報公開条例と環境基本条例の進捗状況は。

【村長】情報公開条例は必ず制定したい。その前提として文書管理システムを進めている。

環境保全是、環境条例というより、包括的に土地利用計画の策定を含めて検討を進めている。



のぎく荘での送迎

子供議会の予定は

情報公開条例

環境基本条例の進捗状況は

小中学校の安全管理は

教育長

安全対策は大切で 意見を聞き考慮する



日置 和彦 議員

【日置和】大阪の校内児童殺傷事件をはじめ、最近このような事件が数多くおきているが、学校内での凶悪事件から子どもや教師を守る対策は。また、小中学校の各教室に防犯ベルの設置と、中学校の生徒にも防犯ブザーを配布する考えは。

【教育長】あの事件を契機に緊急マニュアルの作成、安全管理の意識向上、来客のチェック、校内の巡視、避難訓練等を実施している。

防犯ベルは山西小が大規模改修工事で設置し、河原小、中学校は、どの形で設置するか、山西小の結果を見極めて考えたい。

【日置和】各々の市町村では追加補正などで予算化し、対

応対策がなされている。村も早めの対策をとらないと、事件が発生してからではおそい。各町村の対策等を踏まえ、他に何らかの考えはあるのか。

【教育長】犠牲者を出さないためにも予防、安全対策が大切で、施設設備等の対策は行政の責任である。山西小は構造上に問題があり、監視カメラ等を考えたい。安全面では河原小は少し良いが、中学校は遅れている。早急な対応は無理だが、色んな意見を聞き考えたい。

【日置和】事件、事故の対応策はとらなければならぬ。再度安全管理と危機管理を認識して、一つずつ改善する必要があるのでは。

地域住民みんなで守り、安心安全な学校にするため早めの改善、対策を期待したい。



登校する児童



山田 政晴 議員



活性化がもたれる中山間地

中山間地の活性化を

村長 過疎地域の事も考え対策を立てる

【山田】村の現状を考えると、

人口伸び率では、県下一番という事だが、中山間地は、少子・高齢化が進んでいる。その対策は。

【村長】西原村は地域的に過疎地域と過密地域の両極端に分かれている。これから先、過疎地域の事をしっかりと考えて対策を立てて行きたい。

【山田】農業部門での少量多品目。四季折々の野菜、ワラビ、クレソン等、村の特産品を、市場出荷ではなく、空輸でデパート等に直送し、朝どり野菜コーナーを開設し、二十年來出来なかつたフライト農業への取り組みを行なつた

らどうか。

【村長】京都、大阪での販売促進、二月からの神奈川県相模原、あるいは新宿伊勢丹での販売促進もそのフライト農業の準備段階とし、それを目指して事業に取り組んでいる。

村にはきれいな水と素晴らしい土壌があり、中山間地の活性化については、今までの農業の停滞に、もう一回喝を入れる事からスタートしたいと思つている。新規作物等についても、その地域を対象に進めている所であり、御理解をいただき、村の中山間地の活性化に役立てていきたい。

フライト農業の取り組みを

西原村地域福祉センター “のぎく荘”

平成 5年 4月に開設され、社会福祉協議会が村より受託し管理運営をしています。

社会福祉協議会は村民の方々と共に福祉活動を推進する地域福祉の中核的役割の部門と、介護保険制度の居宅サービス事業の部門の2本の柱で事業を実施しています。その中でデイサービスは、毎日平均 28~ 29名の方々が利用され楽しい一日を過ごしていただいています。

のぎく荘は村民の方々が気軽に立ち寄り、交流の場となるように、ボランティア室等気軽に利用いただき子供たちも学校帰り等は宿題をしたり、デイ利用者の方とゲームをしたり、夏休み等は連日にぎ合っています。2月 24日(日)は、参加される全てがボランティアの第6回“のぎくまつり”が開催されますが、今、デイ利用者の方は琴、太鼓、劇、唄と練習で盛り上がり活気づいています。

今後地域の自立に向けた活動の一つとして、社会福祉協議会は情報の収集等を提供しながら住民参加の福祉活動に邁進していきたいと思ひます。



昨年ののぎくまつりから

声 pinions

西原村そして住民の皆さんへ



西原村商工会 上田浩之

「上田君！西原村は自然と発展するからいろいろ仕掛け

はしなくていいよ、金もいるこつだし」「アーそうですか」他人を当てにしているからこんな嫌な気持ちになる。仕方ない皆の汗と知恵に頼らざるを得ない・・・当村は私が育つた大津の菊阿中校区と環境が良く似ていた。商工会青年部を中心に行動を起し、夏祭りを皆で盛り立て、真下から見上げられる花火大会で有名な西原村(周辺の町は住宅が密集し花火が出来ない?)・

「この花火しかない」と名実ともに迫力あるものとなった地域で事業を行なう私達は地域の活力が無ければ勢いがつかない。それにも増して自分たちの故郷が何もない地域になつているのも残念であり、何かやらねばと思ひ日の丸つじ園を設けた。ママさんバレーも今、当村で唯一のバレーボール大会として生き残つている。夏祭りも安定した。七年前私たちは俵山火祭りを

阿蘇を代表する祭りになるようにと始めた。そして今回の冬あかりです。このゆうすいが出られる頃は結果が出ていくだろう。しかし結果よりも村民の方々と一緒に出来たことが嬉しい。以上総て村民の方々が我々以上に係わつてこられたことに感謝しながら村の発展に頑張りたひ。

編集後記

アメリカの同時多発テロ事件。国内では狂牛病問題が発生し、昨年は経済不況が尚一層加速したように思ひえる。

今年こそはと思ひが、長い不況のトンネルの中、一筋の光も見えない。しかし今年には午年、十二支の七番目、昔、馬は神聖な乗りものであり、午の刻は正午頃で方角は南、何かしら気分的にはいい感じがする。そう思つと、ゆうすい編集にも熱が入ります。
今年も一年間、広報委員会、頑張りますので、よろしくお願ひします。

日置和彦 記